

ここが聞きたい

一般質問



一般質問とは、議員が自身の考えや市民の皆さんの声をもとに市の行財政全般について方針や執行状況などを質問することです。

HPV(※)ワクチンの接種率が向上するための考えは

個別通知による情報提供や啓発を行う



つじ ふみ こ
辻 史子

公明党田原市議団



子宮頸がん予防対策の取組について

問 ワクチン接種の勧奨差し控えの影響を受けた対象者も、3年間限定で接種ができるが、期限を過ぎると自己負担となる。期間内の接種率が向上するには、どの様に考えるか。

答 再度個別通知での情報提供や各種健診会場において啓発をする。また、田原市健康宣言事業所の登録企業へも周知協力をお願いする。

問 令和2年から男性もワクチン接種が可能となった。男性のHPVに関するがん予防効果や、パートナーへの感染防止、集団免疫を獲得するために接種の意義は高いと言われている。費用は自己負担だが、男性の接種の認識と考え方は。

答 有効性は認識しているため、国や他自治体の動向を注視し研究していく。



音声コードの必要性について

問 高齢者や外国人など、読むのが苦手な方に対し、音声コード版の広報誌を作成する考えは。

答 現時点では、対応できる文字数に限りがある音声コードの導入は予定していないが、デジタル技術の進展を注視し検討していきたい。

問 音声コードを活用して各種公的通知を作成し、視覚に障害のある方、高齢者や外国人にも分かりやすい情報提供を行うことが必要だと思うが、各部署で音声コードを活用した取り組みを進めていく考えは。

答 音声コードの活用は、有効な情報提供の手法の一つと認識している。活用方法や必要性について、他市の実施状況なども参考に検討していく。

※HPV
ヒトパピローマウイルス (Human papillomavirus) の略。子宮頸がんなどの原因となるウイルス感染症のこと。